

たてしん通信

002号



令和 4年 1月15日



地域と共に、皆様と共に
館山信用金庫
<http://www.shinkin.co.jp/tateyama/>



新年あけましておめでとうございます

新年、あけましておめでとうございます。

旧年中は、当館山信用金庫に格別のご支援・ご愛顧を賜りまして、心より厚く御礼申し上げます。

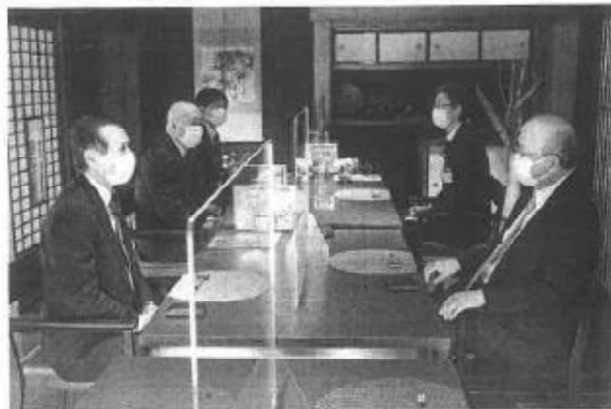
さて、信用金庫業界は昨年、昭和26(1951)年6月の信用金庫法制定から70年の佳節を迎え、当金庫も同年に信用組合から信用金庫となって70周年となります。また、令和元(2019)年4月の市原支店の開設に続き、令和3年10月に袖ヶ浦支店を開設いたしました。

ところで、今年の干支は壬寅(みずのえとら)です。厳しい冬を乗り越えて、新しい成長の礎となる年、新しいステージに向かう準備段階の年といわれます。

第2号となりました今回のたてしん通信では、外房地区のお宿特集や当金庫の活動のご報告等をお伝えしてまいりたいと存じます。

ウィズコロナや、アフターコロナのいわゆる“新しい世界観”に向けて、お取引先の皆さまのお役に立てますよう、今後とも役職員一同、一層のサービスの向上に努め、地域の皆さまに愛される金融機関を目指してまいりますので、本年も変わらぬご支援・ご愛顧を賜りますようお願いを申し上げます。

理事長 利田 秀男



懇談する利田理事長(左)と田中総裁=館山

日本公庫・田中総裁が来訪

館山信金 利田理事長と懇談

政府系金融機関の日本政策金融公庫(日本公庫)の田中一穂総裁がこのほど、館山市を訪れ、親交のある館山信用金庫の利田秀男理事長と懇談。地域経済など幅広い分野について話し合った。

訪問の主な目的は、本政策金融公庫(日本公庫)の田中一穂総裁がこのほど、館山市を訪れ、親交のある館山信用金庫の利田秀男理事長と懇談。地域経済など幅広い分野について話し合った。

本公庫館山支店に、昨年4月に館山信金が職員4人を派遣したことに対する表敬。日本公庫が民間金融機関から応援職員を受け入れたのは、全国でも例がないという。

また、田中総裁は、財務省事務次官を務めた後、平成29年から日本公庫総裁を務めている。

田中総裁は「日本公庫はこれからも政策金融機関として、地域金融機関と連携を深めながら、国民経済の成長、発展などに貢献していきたい」とコメント。

利田理事長は「今回日本公庫総裁の南房総訪問に感謝申し上げます。当金庫は地域密着型の金融機関として、引き続き政府系金融機関である日本公庫との連携を図り、地域が抱える課題解決と付加価値の創造に取り組んでいきたい」と話している。

利田理事長は「今回日本公庫総裁の南房総訪問に感謝申し上げます。当金庫は地域密着型の金融機関として、引き続き政府系金融機関である日本公庫との連携を図り、地域が抱える課題解決と付加価値の創造に取り組んでいきたい」と話している。

たてしん中小企業景況レポート No.16

令和3年(2021年) 10月～12月

編集・発行：館山信用金庫
支援部
TEL:0470-29-3015



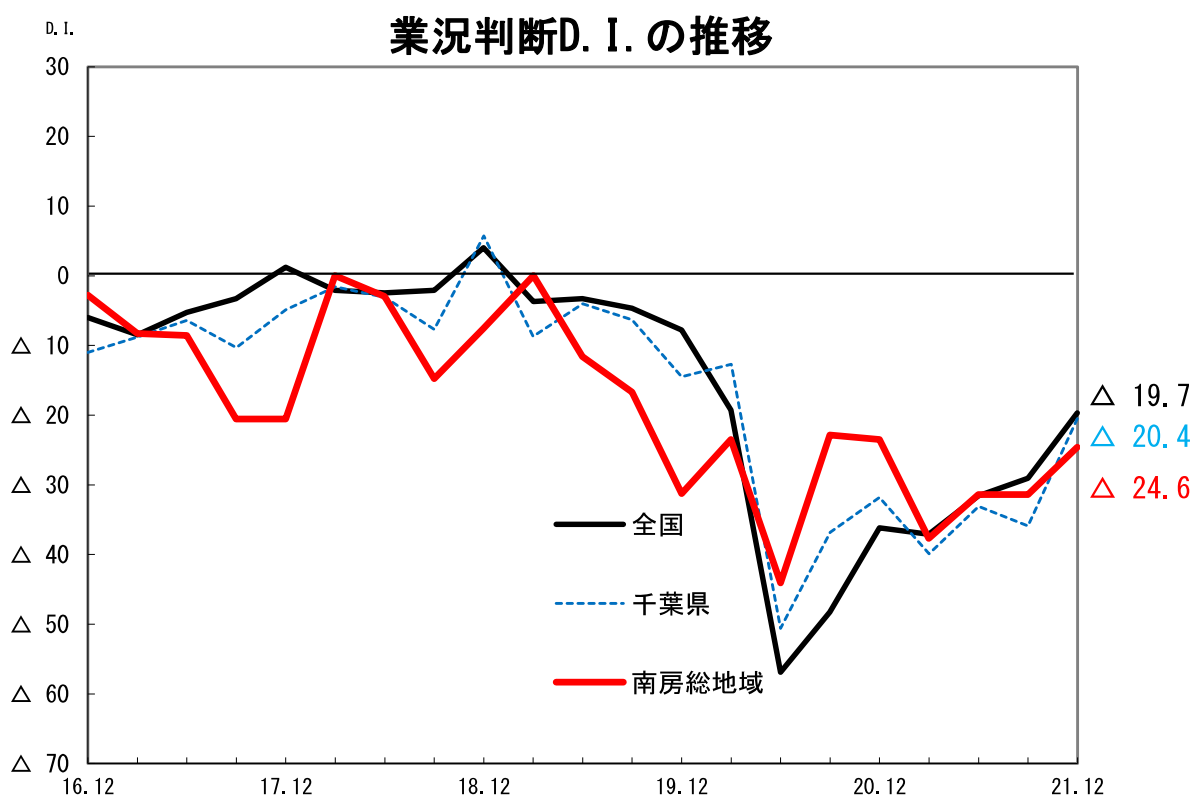
地域と共に、皆様と共に

館山信用金庫

<概況>

令和3年(2021年)10～12月期の全国の業況判断D.I.は $\Delta 19.7$ 、前期に比べ9.4ポイントの改善となった。

なお、今回の業況判断D. I. は、前回調査時における今期見通し($\Delta 26.9$)を7.2ポイント上回った。 ※業況判断D.I. (「良い」と回答した割合から「悪い」と回答した割合の差、プラスほど良い)



千葉県の業況判断D.I.は $\Delta 20.4$ と、前期に比べ15.5ポイントの改善となった。
南房総地域の業況判断D.I.は $\Delta 24.6$ と、前期に比べ6.8ポイントの改善となった。

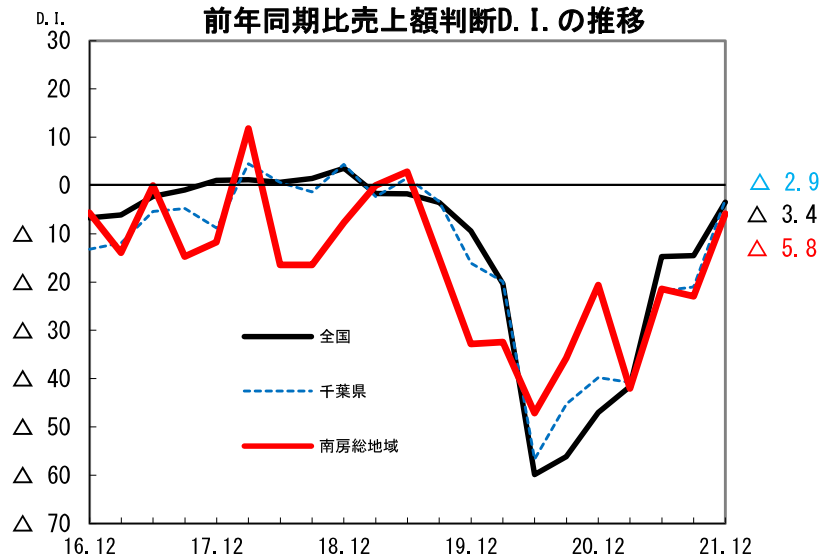
※D.I.とは、Diffusion Indexの略で企業の業況感や人員の過不足などの各種判断を指標化したものです

(全国・千葉・南房総)
売上は改善傾向

全国の前年同期比売上額判断D.I.は△3.4と前期比11.1ポイント改善となった。

南房総地域では、△5.8と前期比17.1ポイント改善となった。

※売上額判断D.I.（「増加した」と回答した割合から「減少した」と回答した割合の差、プラスほど良い）

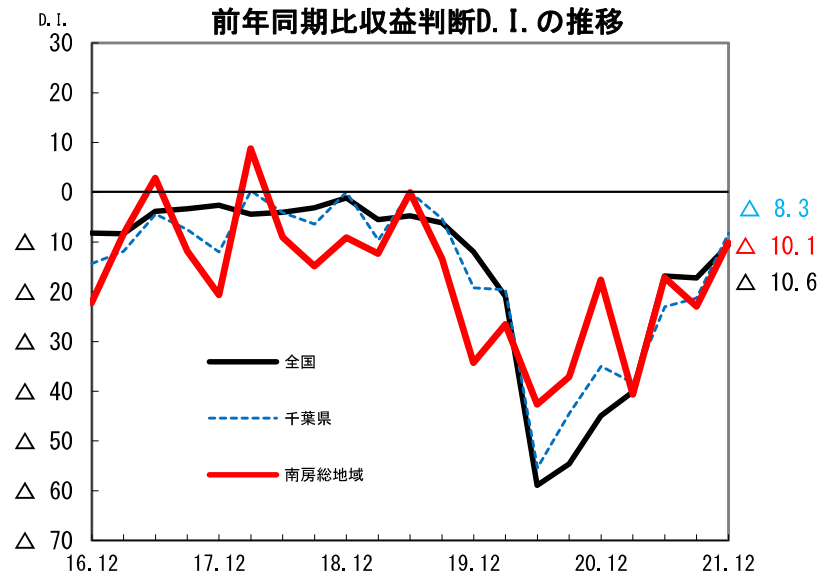


(全国・千葉・南房総)
収益は改善傾向

全国の前年同期比収益判断D.I.は△10.6と前期比6.6ポイント改善となった。

南房総地域では、△10.1と前期比12.8ポイント改善となった。

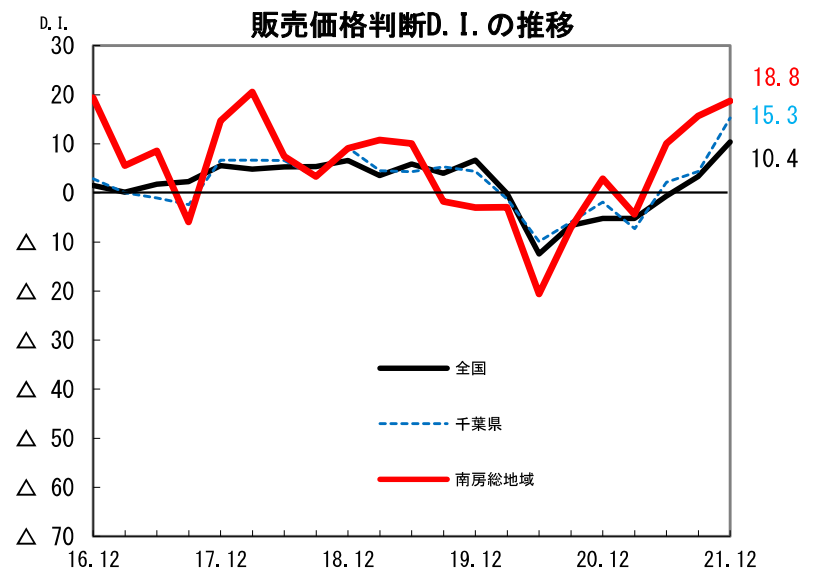
※収益判断D.I.（「増加した」と回答した割合から「減少した」と回答した割合の差、プラスほど良い）



(全国・千葉・南房総)
販売価格は増加傾向

全国の販売価格判断D.I.は10.4と前期比7.0ポイント増加となった。

南房総地域では、18.8と前期比3.1ポイント増加となった。
※販売価格判断D.I.（「上がった」と回答した割合から「下がった」と回答した割合の差、プラスほど販売価格が上昇）

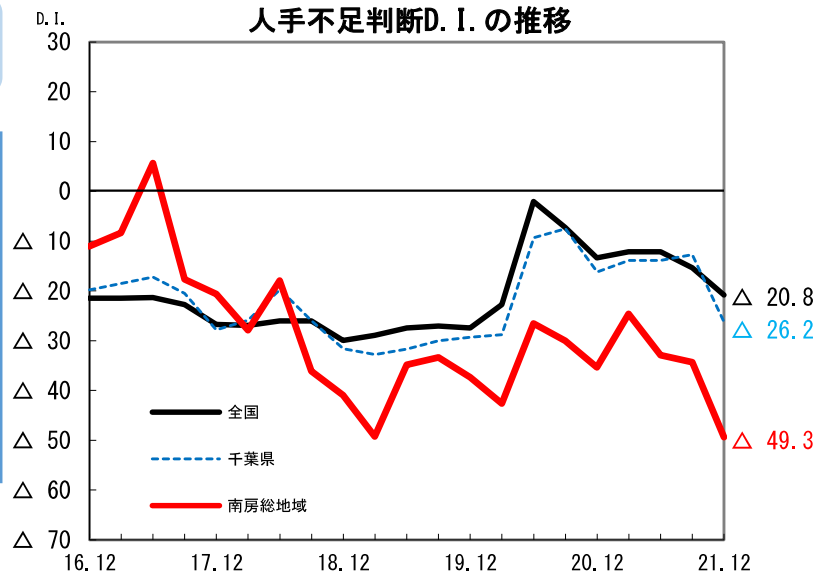


(全国・千葉・南房総)
人手不足感は強まり

全国の人手過不足判断D.I.は△20.8と前期比5.5ポイント低下となった。

南房総地域では、△49.3と前期比15.0ポイント低下となった。

※人手過不足判断D.I. (「過剰」と回答した割合から「不足」と回答した割合の差、マイナスほど人手不足)

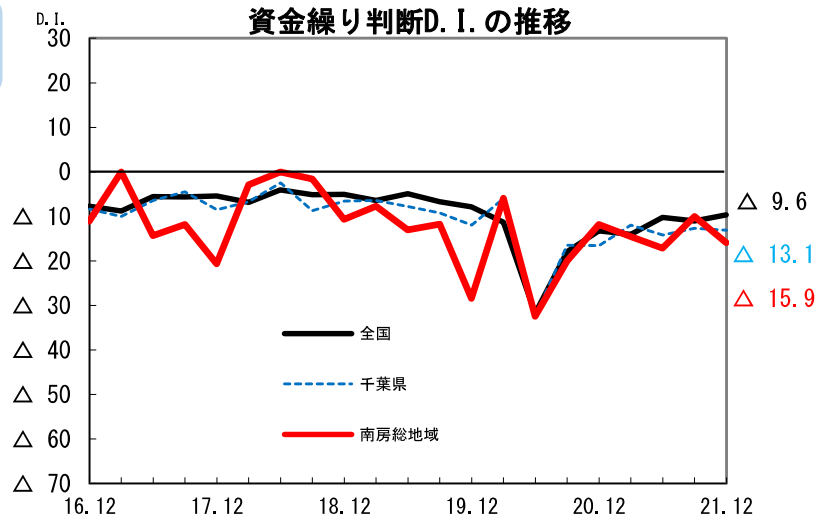


(千葉・南房総)
資金繰りは悪化傾向

全国の資金繰り判断D.I.は△9.6と前期比1.4ポイント改善となった。

南房総地域では、△15.9と前期比5.9ポイント低下となった。

※資金繰り判断D.I. (「楽(らく)」と回答した割合から「厳しい」と回答した割合の差、プラスほど良い)

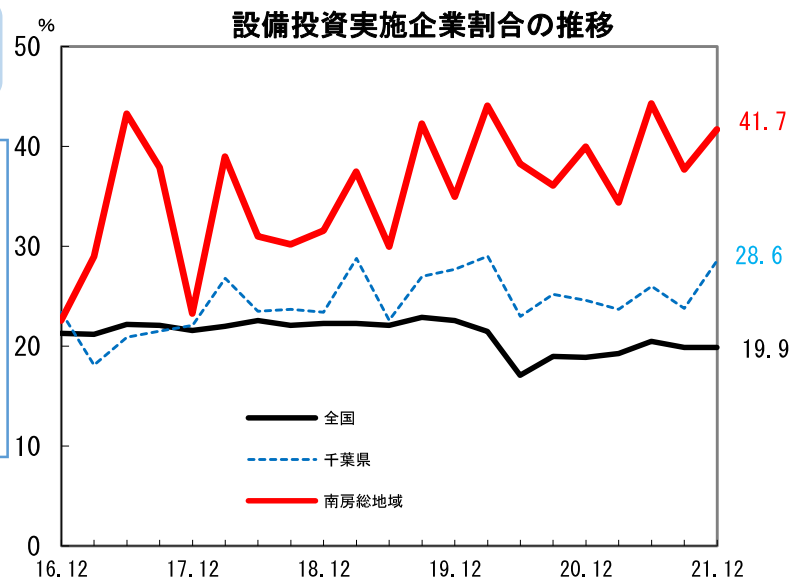


(千葉・南房総)
設備投資は増加傾向

全国の設備投資実施企業割合は19.9%と前期比横ばいであった。

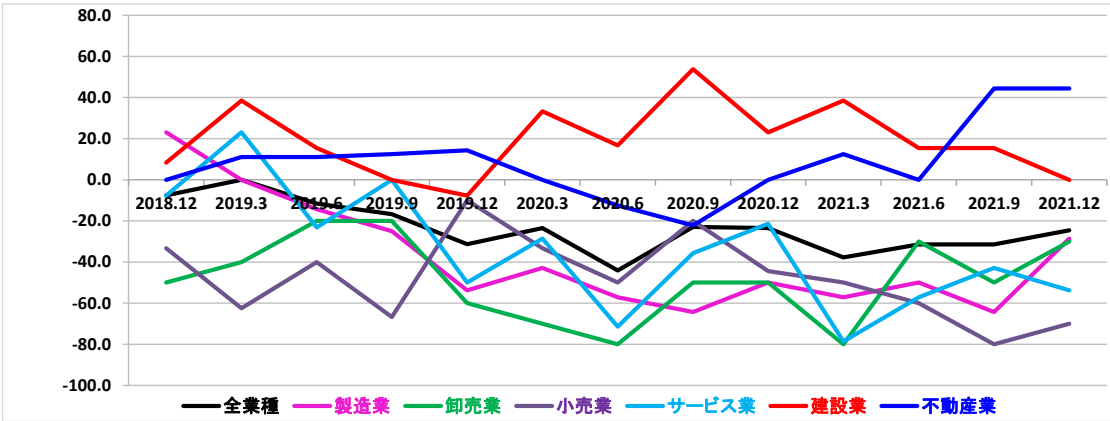
南房総地域では41.7%と前期比4.0ポイントの増加となった。

※設備投資実施企業割合 (設備投資を実施した企業の割合)



主要項目時系列表

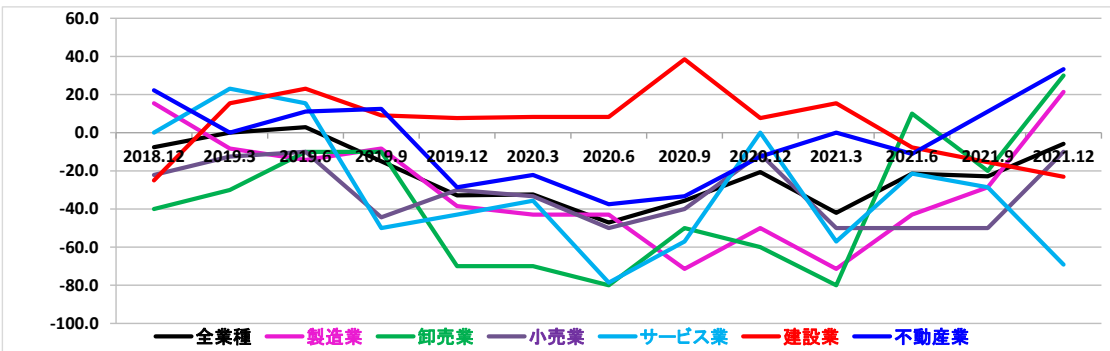
業況判断 D.I



区分	2018.12	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3
全業種	-7.6	0.0	-11.6	-16.7	-31.3	-23.5	-44.1	-22.9	-23.5	-37.7	-31.4	-31.4	-24.6	-33.3
製造業	23.1	0.0	-14.3	-25.0	-53.3	-42.9	-57.1	-64.3	-50.0	-57.1	-50.0	-64.3	-28.6	-50.0
卸売業	-50.0	-40.0	-20.0	-20.0	-60.0	-70.0	-80.0	-50.0	-50.0	-80.0	-30.0	-50.0	-30.0	-10.0
小売業	-33.3	-62.5	-40.0	-66.7	-10.0	-33.3	-50.0	-20.0	-44.4	-50.0	-60.0	-80.0	-70.0	-70.0
サービス業	-7.7	23.1	-23.1	0.0	-50.0	-28.6	-71.4	-35.7	-21.4	-78.6	-57.1	-42.9	-53.8	-46.2
建設業	8.3	38.5	15.4	0.0	-7.7	33.3	16.7	53.8	23.1	38.5	15.4	15.4	0.0	7.7
不動産業	0.0	11.1	11.1	12.5	14.3	0.0	-12.5	-22.2	0.0	12.5	0.0	44.4	44.4	-33.3

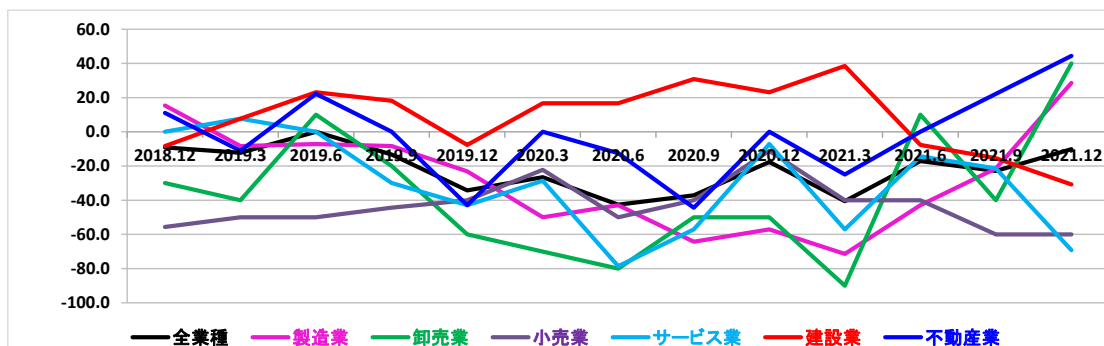
※ 2022.3は、見通しである。

売上額判断 D.I (前年同期比)



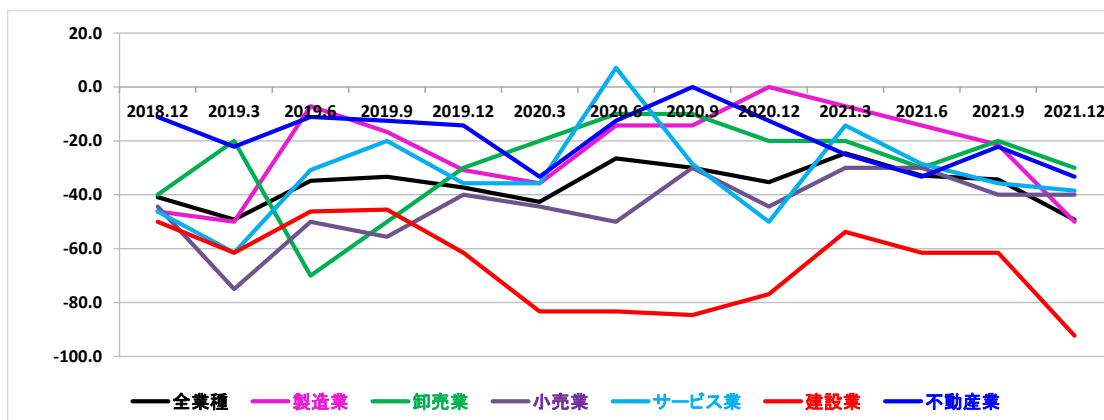
区分	2018.12	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12
全業種	-7.6	0.0	2.9	-15.0	-32.8	-32.4	-47.1	-35.7	-20.6	-42.0	-21.4	-22.9	-5.8
製造業	15.4	-8.3	-14.3	-8.3	-38.5	-42.9	-42.9	-71.4	-50.0	-71.4	-42.9	-28.6	21.4
卸売業	-40.0	-30.0	-10.0	-10.0	-70.0	-70.0	-80.0	-50.0	-60.0	-80.0	10.0	-20.0	30.0
小売業	-22.2	-12.5	-10.0	-44.4	-30.0	-33.3	-50.0	-40.0	-11.1	-50.0	-50.0	-50.0	-10.0
サービス業	0.0	23.1	15.4	-50.0	-42.9	-35.7	-78.6	-57.1	0.0	-57.1	-21.4	-28.6	-59.2
建設業	-25.0	15.4	23.1	9.1	7.7	8.3	8.3	38.5	7.7	15.4	-7.7	-15.4	-23.1
不動産業	22.2	0.0	11.1	12.5	-28.6	-22.2	-37.5	-33.3	-12.5	0.0	-11.1	11.1	33.3

収益判断 D.I (前年同期比)



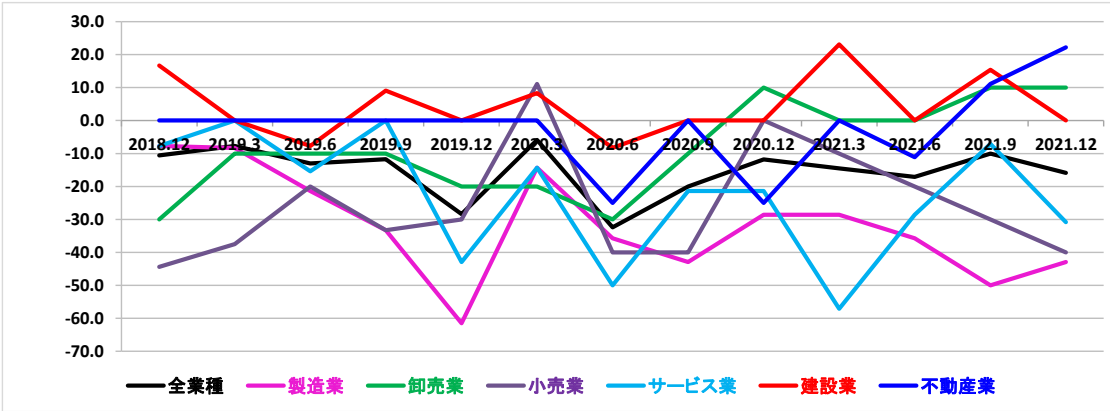
区分	2018.12	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12
全業種	-9.1	-12.3	0.0	-13.3	-34.3	-26.5	-42.6	-37.1	-17.6	-40.6	-17.1	-22.9	-10.1
製造業	15.4	-8.3	-7.1	-8.3	-23.1	-50.0	-42.9	-64.3	-57.1	-71.4	-42.9	-21.4	23.6
卸売業	-30.0	-40.0	10.0	-20.0	-60.0	-70.0	-80.0	-50.0	50.0	-90.0	10.0	-40.0	40.0
小売業	-55.6	-50.0	-50.0	-44.4	-40.0	-22.2	-50.0	-40.0	-11.1	-40.0	-40.0	-60.0	-60.0
サービス業	0.0	7.7	0.0	-30.0	-42.9	-28.6	-78.6	-57.1	-7.1	-57.1	-14.3	-21.4	-33.3
建設業	-8.3	7.7	23.1	18.2	-7.7	16.7	16.7	30.8	23.1	38.5	-7.7	-15.4	-30.8
不動産業	11.1	-11.1	22.2	0.0	-42.9	0.0	-12.5	-44.4	0.0	-25.0	0.0	22.2	44.4

人手不足判断 D.I (過剰-不足)



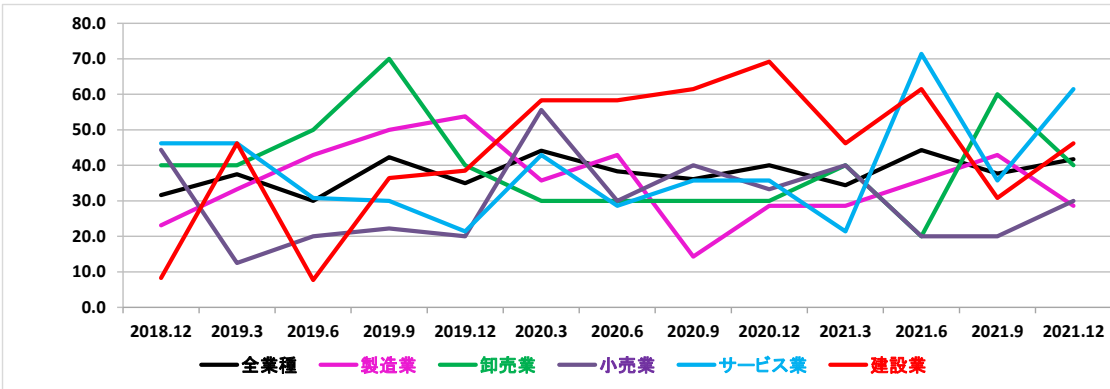
区分	2018.12	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12
全業種	-40.9	-49.2	-34.8	-33.3	-37.3	-42.6	-26.5	-30.0	-35.3	-24.6	-32.9	-34.3	-49.3
製造業	-46.3	-50.0	-7.1	-16.7	-30.3	-35.7	-14.3	-14.3	0.0	-7.1	-14.3	-21.4	-50.0
卸売業	-40.0	-20.0	-70.0	-50.0	-30.0	-20.0	-10.0	-10.0	-20.0	-20.0	-30.0	-20.0	-30.0
小売業	-44.4	-75.0	-50.0	-55.6	-40.0	-44.4	-50.0	-30.0	-44.4	-30.0	-30.0	-40.0	-40.0
サービス業	-46.3	-61.5	-30.8	-20.0	-35.7	-35.7	7.1	-28.6	-50.0	-14.3	-28.6	-35.7	-33.3
建設業	-50.0	-61.5	-46.2	-45.5	-61.5	-83.3	-83.3	-84.6	-76.9	-53.8	-61.5	-61.5	-92.3
不動産業	-11.1	-22.2	-11.1	-12.5	-14.3	-33.3	-12.5	0.0	-12.5	-25.0	-33.3	-22.2	-33.3

資金繰り判断 D.I (楽-苦)



区分	2018.12	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12
全業種	-10.6	-7.7	-13.0	-11.7	-28.4	-5.9	-32.4	-20.0	-11.8	-14.5	-17.1	-10.0	-15.9
製造業	-7.7	-8.3	-21.4	-33.3	-61.5	-14.3	-35.7	-42.9	-28.6	-28.6	-35.7	-50.0	-42.9
卸売業	-30.0	-10.0	-10.0	-10.0	-20.0	-20.0	-30.0	-10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0
小売業	-44.4	-37.5	-20.0	-33.3	-30.0	11.1	-40.0	-40.0	0.0	-10.0	-20.0	-30.0	-40.0
サービス業	-7.7	0.0	-15.4	0.0	42.9	-14.3	-50.0	-21.4	-21.4	-57.1	-28.6	-7.1	-30.8
建設業	16.7	0.0	-7.7	9.1	0.0	8.3	-8.3	0.0	0.0	23.1	0.0	15.4	0.0
不動産業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-11.1	11.1	22.2

設備投資実施企業割合 (%)

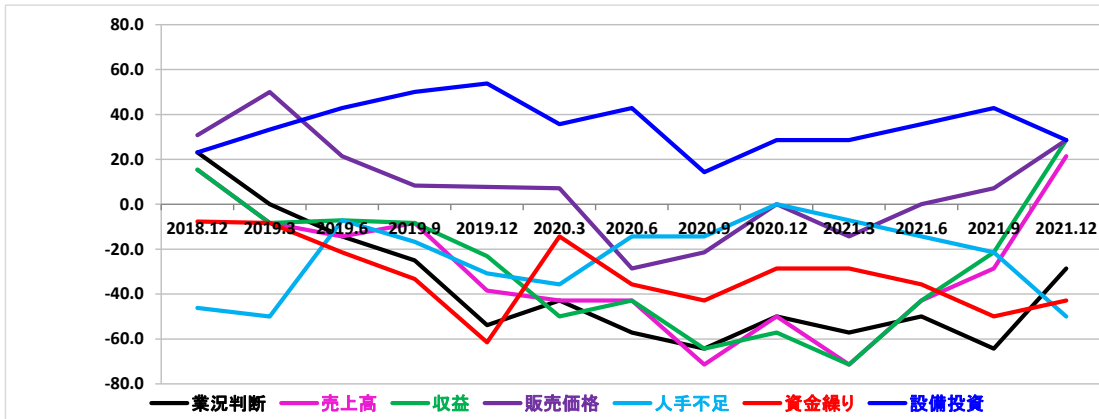


区分	2018.12	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12
全業種	31.6	37.5	30.0	42.3	35.0	44.1	38.3	36.1	40.0	34.4	44.3	37.7	41.7
製造業	23.1	33.3	42.9	50.0	53.8	35.7	42.9	14.3	28.6	28.6	35.7	42.9	28.6
卸売業	40.0	40.0	50.0	70.0	40.0	30.0	30.0	30.0	30.0	40.0	20.0	60.0	40.0
小売業	44.4	12.5	20.0	22.2	20.0	55.6	30.0	40.0	33.3	40.0	20.0	20.0	30.0
サービス業	46.2	46.2	30.8	30.0	21.4	42.9	28.6	35.7	35.7	21.4	71.4	35.7	61.5
建設業	8.3	46.2	7.7	36.4	38.5	58.3	58.3	61.5	69.2	46.2	61.5	30.8	46.2

※ 不動産業は、調査対象外である。

業種別時系列表

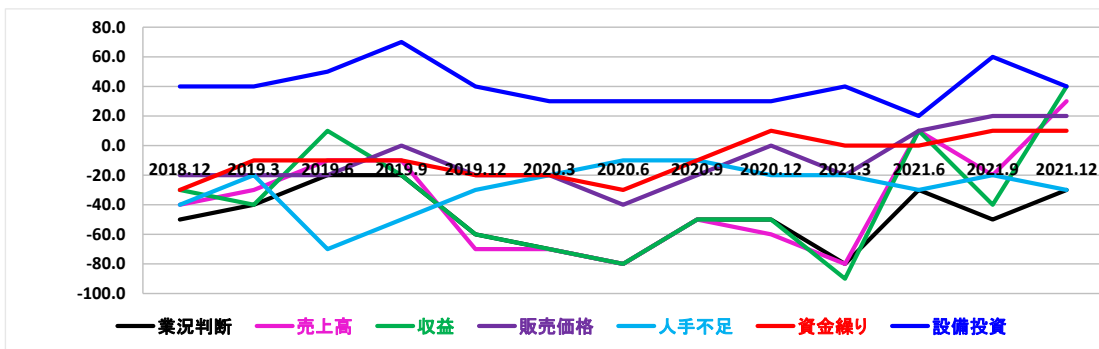
製造業



区分	2018.12	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3
業況判断	23.1	0.0	-14.3	-25.0	-53.8	-42.9	-57.1	-64.3	-50.0	-57.1	-50.0	-64.3	-28.6	-50.0
売上高	15.4	-8.3	-14.3	-8.3	-38.5	-42.9	-42.9	-71.4	-50.0	-71.4	-42.9	-28.6	21.4	
収益	15.4	-8.3	-7.1	-8.3	-23.1	-50.0	-42.9	-64.3	-57.1	-71.4	-42.9	-21.4	28.6	
販売価格	30.3	50.0	21.4	8.3	7.7	7.1	-28.6	-21.4	0.0	-14.3	0.0	7.1	28.6	
人手不足	-46.9	-50.0	-7.1	-16.7	-30.8	-35.7	-14.3	-14.3	0.0	-7.1	-14.3	-21.4	-50.0	
資金繰り	-7.7	-8.3	-21.4	-33.3	-61.5	-14.3	-35.7	-42.9	-28.6	-28.6	-35.7	-50.0	-42.9	
設備投資	23.1	33.3	42.9	50.0	53.8	35.7	42.9	14.3	28.6	28.6	35.7	42.9	28.6	

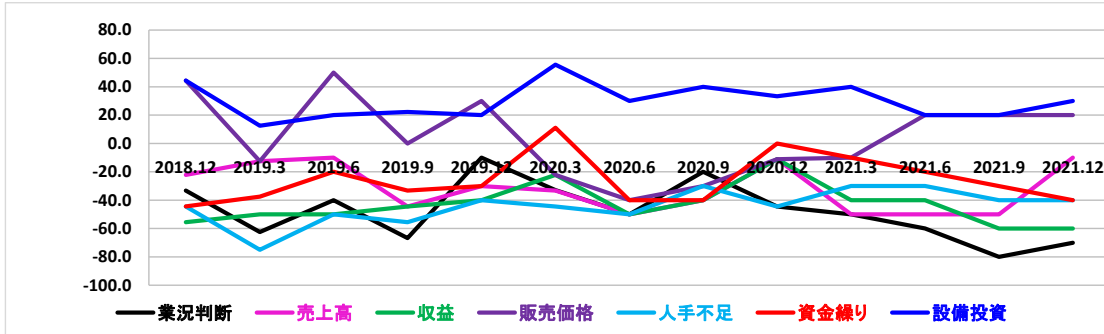
※ 2022.3は、見通しである。

卸売業



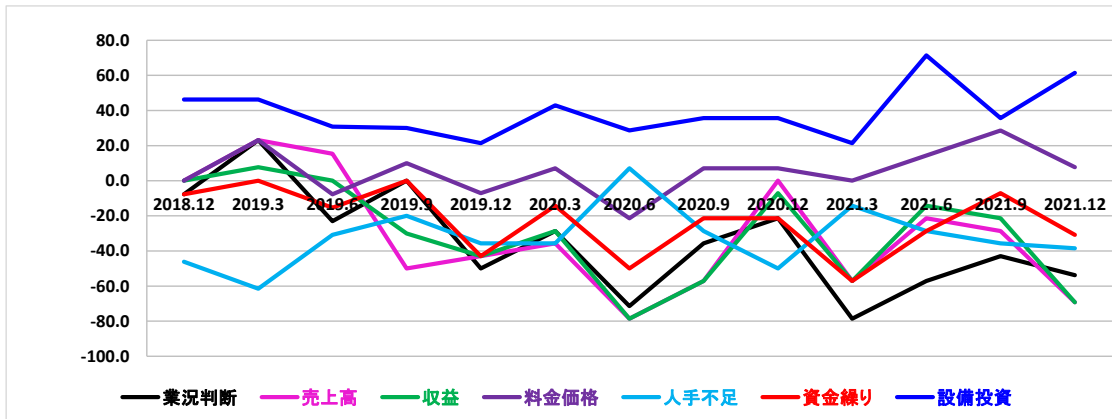
区分	2018.12	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3
業況判断	-50.0	-40.0	-20.0	-20.0	-60.0	-70.0	-80.0	-50.0	-50.0	-80.0	-30.0	-50.0	-30.0	-10.0
売上高	-40.0	-30.0	-10.0	-10.0	-70.0	-70.0	-80.0	-50.0	-60.0	-80.0	10.0	-20.0	30.0	
収益	-30.0	-40.0	10.0	-20.0	-60.0	-70.0	-80.0	-50.0	-50.0	-90.0	10.0	-40.0	40.0	
販売価格	-20.0	-20.0	-20.0	0.0	-20.0	-20.0	-40.0	-20.0	0.0	-20.0	10.0	20.0	20.0	
人手不足	-46.9	-20.0	-70.0	-50.0	-30.0	-20.0	-10.0	-10.0	-20.0	-20.0	-30.0	-20.0	-30.0	
資金繰り	-30.0	-10.0	-10.0	-10.0	-20.0	-20.0	-30.0	-10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0	
設備投資	40.0	40.0	50.0	70.0	40.0	30.0	30.0	30.0	30.0	40.0	20.0	60.0	40.0	

小売業



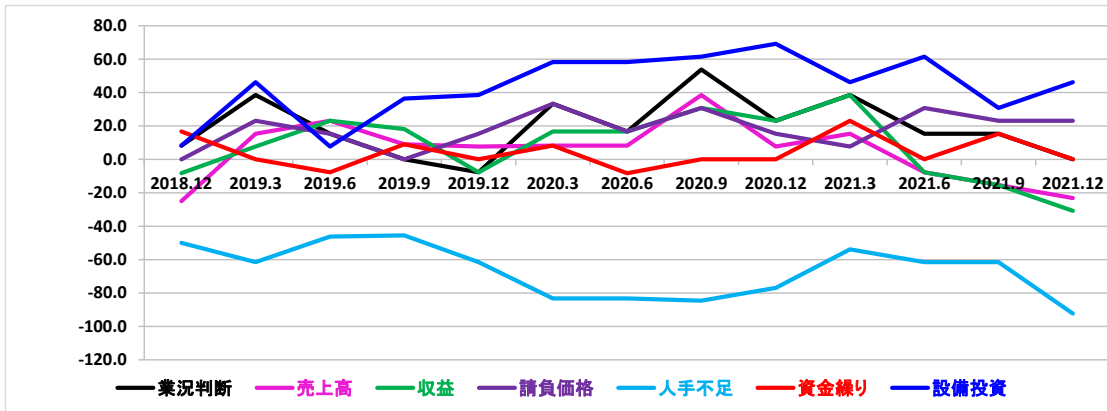
区分	2018.12	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3
業況判断	-33.3	-62.5	-40.0	-66.7	-10.0	-33.0	-50.0	-20.0	-44.4	-50.0	-60.0	-80.0	-70.0	-70.0
売上高	-22.2	-12.5	-10.0	-44.4	-30.0	-33.3	-50.0	-40.0	-11.1	-50.0	-50.0	-50.0	-10.0	
収益	55.6	-50.0	50.0	-44.4	-40.0	-22.2	-50.0	-40.0	-11.1	-40.0	-40.0	-60.0	-60.0	
販売価格	44.4	-12.5	50.0	0.0	30.0	-22.2	-40.0	-30.0	-11.1	-10.0	20.0	20.0	20.0	
人手不足	-44.4	-75.0	-50.0	-55.6	-40.0	-44.4	-50.0	-30.0	-44.4	-30.0	-30.0	-40.0	-40.0	
資金繰り	-44.4	-37.5	-20.0	-33.3	-30.0	11.1	-40.0	-40.0	0.0	-10.0	-20.0	-30.0	-40.0	
設備投資	44.4	12.5	20.0	22.2	20.0	55.6	30.0	40.0	33.3	40.0	20.0	20.0	30.0	

サービス業



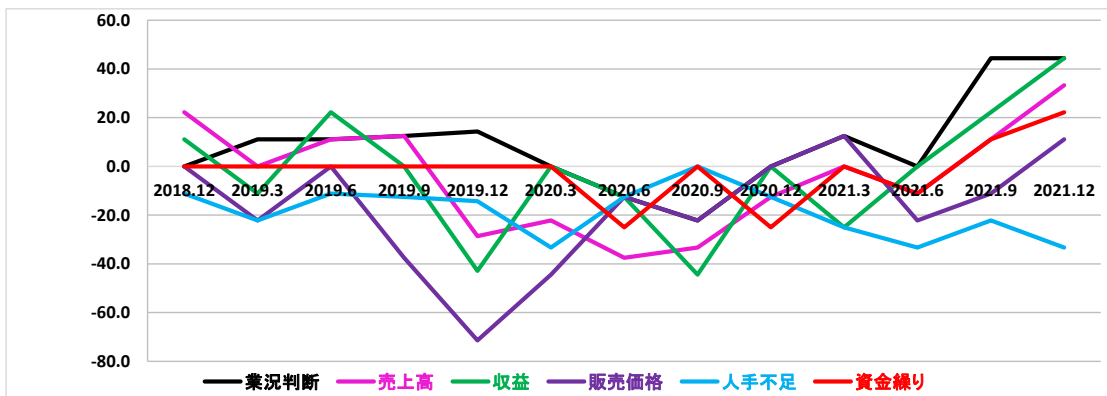
区分	2018.12	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3
業況判断	-7.7	23.1	-23.1	0.0	-50.0	-28.6	-71.4	-35.7	-21.4	-78.6	-57.1	-42.9	-53.8	-46.2
売上高	0.0	23.1	15.4	-50.0	-42.9	-35.7	-78.6	-57.1	0.0	-57.1	-21.4	-28.6	-69.2	
収益	0.0	7.7	0.0	-30.0	-42.9	-28.6	-78.6	-57.1	-7.1	-57.1	-14.3	-21.4	-69.2	
料金価格	0.0	23.1	-7.7	10.0	-7.1	7.1	-21.4	7.1	7.1	0.0	14.3	28.6	7.7	
人手不足	-46.2	-61.5	-30.8	-20.0	-35.7	-35.7	7.1	-28.6	-50.0	-14.3	-28.6	-35.7	-35.7	
資金繰り	-7.7	0.0	-15.4	0.0	-42.9	-14.3	-50.0	-21.4	-21.4	-57.1	28.6	-7.1	-30.8	
設備投資	46.2	46.2	30.8	30.0	21.4	42.9	28.6	35.7	35.7	21.4	71.4	35.7	61.5	

建設業



区分	2018.12	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3
業況判断	8.3	38.5	15.4	0.0	-7.7	33.3	16.7	53.8	23.1	38.5	15.4	15.4	0.0	7.7
売上高	-25.0	15.4	23.1	9.1	7.7	8.3	8.3	38.5	7.7	15.4	-7.7	-15.4	-23.1	
収益	-8.3	7.7	23.1	18.2	-7.7	16.7	16.7	30.8	23.1	38.5	-7.7	-15.4	-30.8	
請負価格	0.0	23.1	15.4	0.0	15.4	33.3	16.7	30.8	15.4	7.7	30.8	23.1	23.1	
人手不足	-50.0	-61.5	-46.2	-45.5	-61.5	-83.3	-83.3	-84.6	-76.9	-53.8	-61.5	-61.5	-92.3	
資金繰り	16.7	0.0	-7.7	9.1	0.0	8.3	-8.3	0.0	0.0	23.1	0.0	15.4	0.0	
設備投資	8.3	46.2	7.7	36.4	38.5	58.3	58.3	61.5	69.2	46.2	61.5	30.8	46.2	

不動産業



区分	2018.12	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3
業況判断	0.0	11.1	11.1	12.5	14.3	0.0	-12.5	-22.2	0.0	12.5	0.0	44.4	44.4	-33.3
売上高	22.2	0.0	11.1	12.5	-28.6	-22.2	-37.5	-33.3	-12.5	0.0	-11.1	11.1	33.3	
収益	11.1	-11.1	22.2	0.0	-42.9	0.0	-12.5	-44.4	0.0	-25.0	0.0	22.2	44.4	
販売価格	0.0	-22.2	0.0	-37.5	-71.4	-44.4	-12.5	-22.2	0.0	12.5	-22.2	-11.1	11.1	
人手不足	-11.1	-22.2	-11.1	-12.5	-14.3	-33.3	-12.5	0.0	-12.5	-25.0	-33.3	-22.2	-33.3	
資金繰り	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-11.1	11.1	22.2	

※ 設備投資は、調査対象外である。

たてしん中小企業景況レポート No. 16 特徴等
(令和3年(2021年)10月~12月)

- 業況判断 D. I. を見ると、全国は前期比 9.4 ポイント改善の $\Delta 19.7$ となり、千葉県では前期比 15.5 ポイント改善の $\Delta 20.4$ 、南房総地域も前期比 6.8 ポイント改善の $\Delta 24.6$ という結果となりました。

次期の予想業況判断 D. I. については、全国 $\Delta 21.1$ (今期比 $\Delta 1.4$)、千葉県 $\Delta 23.0$ (今期比 $\Delta 2.6$)、南房総地域 $\Delta 33.3$ (今期比 $\Delta 8.7$) と、次期については全国、千葉県及び南房総地域の全エリアにおいて、悪化が見込まれています。
- 南房総地域の業況判断 D. I. (前期比)の業種別では、製造業が $\Delta 28.6$ (前期比+35.7)、卸売業が $\Delta 30.0$ (前期比+20.0)、小売業が $\Delta 70.0$ (前期比+10.0) と水準はマイナスであるものの、緊急事態宣言の解除に伴い、業況は改善傾向にあります。

一方、サービス業は $\Delta 53.8$ (前期比 $\Delta 10.9$)と、回復傾向が見られず、引き続き低水準となっています。また、前期は他業種に比べ高水準であった不動産業は 44.4 (前期比 ± 0) と横ばいになりました。同じく、建設業については ± 0 (前期比 $\Delta 15.4$) となっており、2020年9月をピークとした台風被害の需要が一巡したことが窺えます。
- 次期の見込みについては、卸売業 $\Delta 10.0$ (今期比+20.0)、建設業 7.7 (今期比+7.7)、サービス業 $\Delta 46.2$ (今期比+7.6) と改善を見込んでいます。小売業は、 $\Delta 70.0$ (今期比 ± 0) と厳しい水準での横ばいという結果となりました。

一方、悪化を予想しているのは製造業と不動産業で、特に不動産業については業績悪化を見込んでいた今期も結果として横ばいとなりましたが、次期は $\Delta 33.3$ (今期比 $\Delta 77.7$) と、商品物件の不足等による大幅な悪化を見込んでいます。
- 売上額判断 D. I. (前年同期比・南房総地域)を見ると、全業種では $\Delta 5.8$ (前期比+17.1) と改善傾向にあります。業種別では製造業、卸売業、小売業、不動産業で売上が増加しており、特に製造業では 21.4 (前期比+50.0)、卸売業では 30.0 (前期比+50.0) と大幅な増加となっています。

一方、サービス業では $\Delta 69.2$ (前期比 $\Delta 40.6$) となっており、緊急事態宣言解除後もすぐに売上額の増加に繋がらなかったことや、前年は同時期に GOTO キャンペーンがあったことが、対前年同期比で見た場合の減少要因であると推測されます。

また、建設業も $\Delta 23.1$ (前期比 $\Delta 7.7$) と、台風被害による特需の減少と、資材の高騰による受注の先延ばし等の影響が売上減少に繋がっていると推測されます。
- 収益判断 D. I. (前年同期比・南房総地域)も同様に、全業種では $\Delta 10.1$ (前期比

+12.8)と改善傾向となっています。業種別で見ると、製造業が28.6(前期比+50.0)、卸売業が40.0(前期比+80.0)と大幅に増加しており、不動産業も含めた3業種が増加傾向にあります。小売業では、売上額は増加しましたが、収益は△60.0(前期比±0)と横ばいとなっており、仕入価格の高騰が窺えます。

また、建設業△30.8(前期比△15.4)とサービス業△69.2(前期比△47.8)については、売上額の減少が収益に反映され、収益も同様に減少しています。

- 資金繰り判断D.I.(南房総地域)は、前期比△5.9ポイントの△15.9となっています。業種別では、不動産業が22.2(前期比+11.1)と好調を維持し、製造業は△42.9(前期比+7.1)と若干改善、卸売業は10.0(前期比±0)と横ばいでの推移となりました。これ以外の3業種は悪化傾向にあり、特にサービス業(飲食業等)については△30.8(前期比△23.7)となっており、協力金等の給付が終了したことが要因であると推測されます。

- 南房総地域の設備投資実施企業割合は41.7%(前期比+4.0)と、全国・千葉県に比べて引き続き高水準を維持しており、特にサービス業、建設業の実施割合が高くなっています。

- 今回の特別調査では「2022年(令和4年)の経営見通し」について確認しました。「2022年の自社の業況の見通し」については、南房総地域では「悪い」(57.9%:40件)、「普通」(29.0%:20件)、「良い」(13.0%:9件)と、依然として景気の見通しが悪いという回答が多く、全国でも「悪い」42.4%という結果になりました。しかしながら、前年の同調査(「2021年の自社の業況見通し」)では、「悪い」は全国64.7%、南房総地域73.5%と今回調査より多く、対前年比では景気回復を見込む事業者が増えたことが分かります。

「自社の業況が上向き転換点」では、「1年後」が最も多く21.2%となりましたが、「業況改善の見通しは立たない」という回答も21.2%と同数となりました。

「原材料・仕入価格の上昇への対応」については、南房総地域では「販売価格に転嫁できている・仕入価格は上がっていない」という回答が24.2%(全国21.3%)に留まりました。価格上昇への対応策については、「経費削減」40.9%、「仕入先・仕入方法の変更」25.8%、と自助努力にて利益確保を行う事業者が多く見られました。

- 新商品や新サービスの展開で活用可能性のある補助金として、「事業再構築補助金」があり、5次締切が令和4年1月に開始予定で、その後8次締切まで予定されています。補助額100万~8,000万円、補助率2分の1~3分の2で、「事業の再構築を行うこと」等が対象となります。補助金の申請については、当金庫が提携をしている千葉県中小企業診断士協会のご紹介も可能ですので、お声掛け下さい。

2022年(令和4年)の経営見通しについて ※抜粋

2022年の自社の業況見通し			自社の業況が上向く転換点			
項目	全国	南房総	項目	全国	南房総	自社の業況
非常に良い	0.3%	0.0%	すでに上向いている	14.8%	10.6%	自社の業況が上向く転換点については、全国・南房総ともに「1年後」が最も多い結果となった。
良い	2.5%	2.9%	6ヶ月以内	13.4%	16.7%	
やや良い	12.6%	10.1%	1年後	23.1%	21.2%	
普通	42.3%	29.0%	2年後	14.6%	19.7%	
やや悪い	32.1%	49.3%	3年後	9.9%	6.1%	
悪い	9.0%	4.3%	3年超	6.0%	4.5%	
非常に悪い	1.3%	4.3%	業況改善の見通しなし	18.2%	21.2%	
自社の業況見通しは、「良い～悪い」でみると、全国△27.0、南房総△44.9となった。1年前の同調査(全国△58.2、南房総△66.1)より、業況改善の見通しとなっている。						

※良い:「非常に良い」「良い」「やや良い」 悪い:「やや悪い」「悪い」「非常に悪い」

2022年の自社の売上額の伸び率見通し						
項目	全国	南房総	項目	全国	南房総	
30%以上 増加	1.6%	1.4%	10%未満 減少	16.3%	21.7%	2022年の自社の売上額の伸び率見通しについては、全国・南房総ともに「変わらない」が最も多い結果となった。「増加～減少」で見ると、全国は7.6と増加が減少を上回っているが、南房総は△8.7と減少の見通しが多かった。
10～29% 増加	12.5%	8.6%	10～29% 減少	8.9%	11.5%	
10%未満 増加	20.2%	17.4%	30%以上 減少	1.5%	2.9%	
変わらない	39.1%	36.2%				

原材料・仕入価格の上昇への対応 (最大3つまで回答)			
項目	全国	南房総	
販売価格に転嫁できている・そもそも仕入価格は上がっていない	21.3%	24.2%	原材料・仕入価格の上昇への対応については、「販売価格に転嫁できている・そもそも仕入価格は上がっていない」という回答が全国21.3%、南房総24.2%という結果となった。 一方、販売価格に転嫁できていない場合の対応については、全国・南房総ともに「経費の削減」が最も多い結果となった。次いで、「仕入先・仕入方法の変更」、「製品・商品・サービスの見直し」、「生産性の向上」があげられた。 なお、「特に対応はしていない」という回答は、全国19.4%、南房総19.7%となった。
仕入先・仕入方法の変更	16.8%	25.8%	
製品・商品・サービスの見直し	15.8%	15.2%	
経費の削減	38.5%	40.9%	
生産性の向上	10.2%	15.2%	
代替品の確保	8.3%	13.6%	
仕入の削減(生産・販売量の調整)	9.9%	12.1%	
その他	2.2%	1.5%	
特に対応はしていない	19.4%	19.7%	

<調査の概要>

- ①調査時点: 令和3年(2021年)12月1日～7日
- ②調査方法: 当金庫による面接聞き取り方式、または対象企業先による直接記入方式。
 なお、全国および千葉県は信金中央金庫地域・中小企業研究所の調査による。
- ③分析方法: 各質問項目で「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(D.I.)を中心に分析。
- ④調査地域: 当金庫の調査地域(南房総地域)は、千葉県館山市、南房総市、鴨川市、鋸南町の3市1町。
- ⑤対象企業: 全国の信用金庫の取引先で、特に回答企業のうち従業員20名未満の企業が7割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体。
- ⑥標本数: 15,285企業(有効回答数13,905企業・回答率90.9%)
 千葉県332企業(有効回答数313企業・回答率94.2%)
 南房総地域 70企業(有効回答数69企業・回答率98.5%)
 ※18年3月期に当地域の標本数34から70に変更しています。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫が正確性および完全性を保証するものではありません。



【千倉支店お取引先】

㈱エヴァーブルースカイ(ちくらつなぐホテル) 様
〒295-0111
南房総市千倉町北朝東2967
☎0470-29-7370(担当: 沖野友則)
✉ tokino@bluesky-as.com



【お宿から】

海まで徒歩2分! 千倉海岸目の前の、旧小学校をリノベーションしたホテルです。
BBQにキャンプファイヤーなど、大人も子供も思い出に残るご滞在を。

【千倉(白浜)支店お取引先】

おやど すえひろ 様
〒295-0102
南房総市白浜町白浜623-45
☎090-2207-7445(担当: 星野順子)
<https://oyado-suehiro.com>



【お宿から】

南房総白浜、野島崎灯台が目の前にある、1日お二組限定(1組2名、4名様なら貸し切り)のお宿。
地産地消費素材をオーナー自らが腕を振るうお料理は絶品。海が見えるお風呂やお部屋で、ゆっくりゆったりお寛ぎいただけます。



【千倉支店お取引先】

美味しい温泉 夢みさき & 別邸 夢咲 様
〒295-0004
南房総市千倉町瀬戸3137-1
☎0470-44-2000(担当: 栗原)
<https://yumemisaki.co.jp>



【お宿から】

地元の新鮮地魚や房州海老・鮑だけでなく、全国から「案内人」が集めた至極の食材を使ったお料理と、海一望の展望露天風呂など、充実の温泉を楽しめる宿です。
別邸「夢咲」では、ナノバブル温泉付和洋室3部屋をご用意、ご夕食はシアター型鉄板焼「Baknos」にて、ライブ感のあるお料理をご堪能ください。



【千倉(白浜)支店お取引先】

南房総白浜 季節の宿 紋屋 様
〒295-0102
南房総市白浜町白浜232
☎0470-38-3151(担当: 高尾貴行)
<https://www.monya.co.jp>
✉ aruji@monya.co.jp



【お宿から】

太平洋が一望できる、和モダンの老舗旅館。
味わい豊かな美食膳と温泉、貸切風呂も人気です。
赤ちゃんと一緒にでも安心して泊りいただけるお宿としても有名で、お子様連れや妊婦さんのご旅行にお勧めです。

外房地区 おすすめ お宿特集

【天津小湊支店お取引先】

㈱小湊館(旬彩の宿 緑水亭) 様
〒299-5502
鴨川市内浦1385
☎04-7095-3030(担当: 稲葉靖)
✉ info@ryokusuitei.jp



【お宿から】

日本の心・・・「和」。日本人だからこそ感じる心があります。
池を優雅に泳ぐ鯉、風に揺られる木の葉、そして木の香りとぬくもりが、人を癒してくれます。

【鴨川支店お取引先】

南魚眠庵マルキ本館 様
〒296-0001
鴨川市横渚533
☎04-7093-2181(担当: 久根崎達郎)
<http://www.gyominan.com>



【お宿から】

当館は、魚屋さんから生まれた6室の料理宿です。「ほっと寛げる、6つの空間」をコンセプトにしたお部屋をお選びいただけます。
また、「旬の魚」、「美味しい魚」にこだわっており、産地でなくては味わえない「本物の魚の味」を楽しんでいただけます。
今後、市内太海(ふとみ)地区にて、別館をオープンする予定です。



【鴨川支店お取引先】

㈱鴨川ユニバースホテル 様
〒296-0002
鴨川市前原69
☎04-7092-1361
<https://www.kuh.co.jp>



【お宿から】

おかげさまで当館は、昨年創業100周年を迎えることができました。
全室オーシャンビューの客室と、地産地消のお料理により、ご好評をいただいております。
各種ご会合・ご会席・ご宴会等、是非お気軽にご利用ください。

【天津小湊支店お取引先】

浜辺の湯・浪漫の歌 宿 中屋 様
〒299-5503
鴨川市天津3287
☎04-7094-1111(担当: 中田淳子)
<http://www.nakayahotel.com>



【お宿から】

海辺に佇む、自家源泉のお宿。
南房総の海の幸、山の幸。贅をつくした味わいを、おこころゆくまで。
観光経済新聞社主催「人気温泉旅館ホテル250選」において、「5つ星の宿」に認定していただきました。